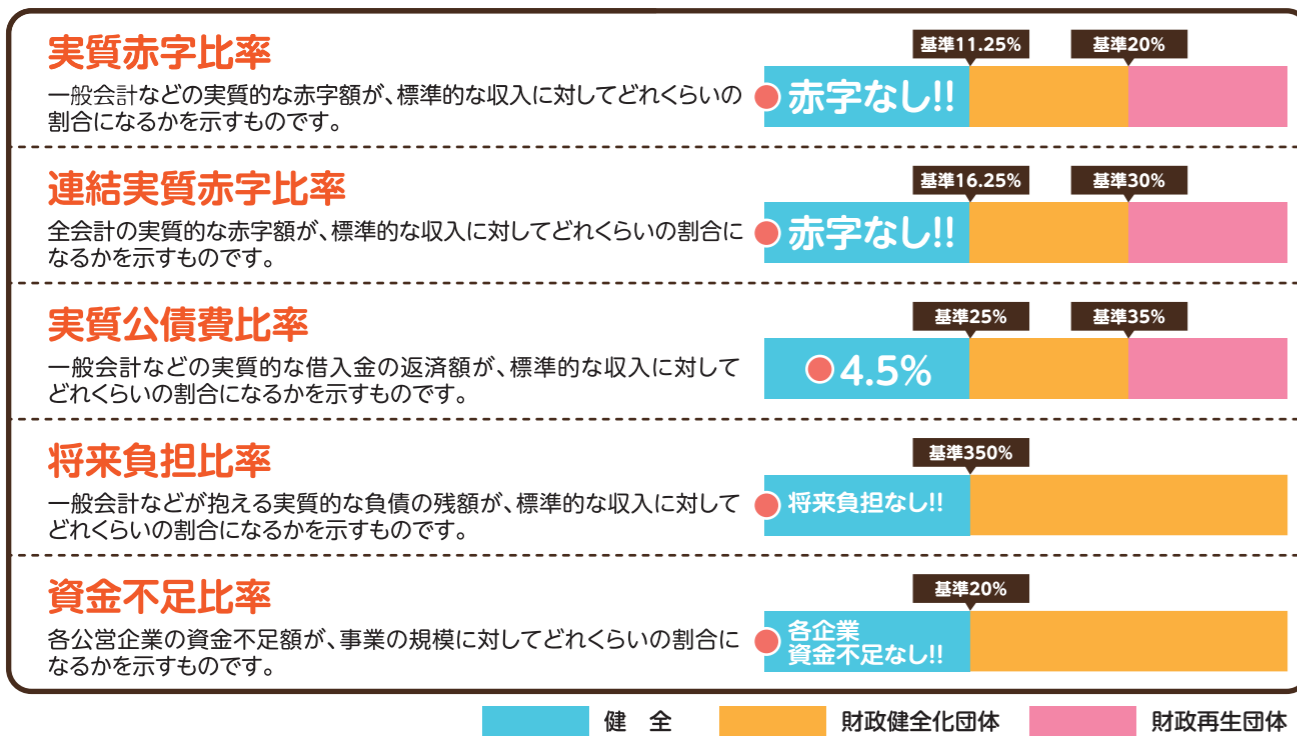


## 令和3年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

※佐世保市はすべての指標でクリアしています。



## これからも健全な財政運営を行います。

### 財政運営の方針

「質の高い」財政運営 「自立した」財政運営 「信頼される」財政運営

財政規律(収支の均衡、将来負担の抑制、適正な受益者負担など)を守りながら、計画的、効率的な財政運営に努め、圏域の活性化を図りつつ、財政の健全性を維持します。

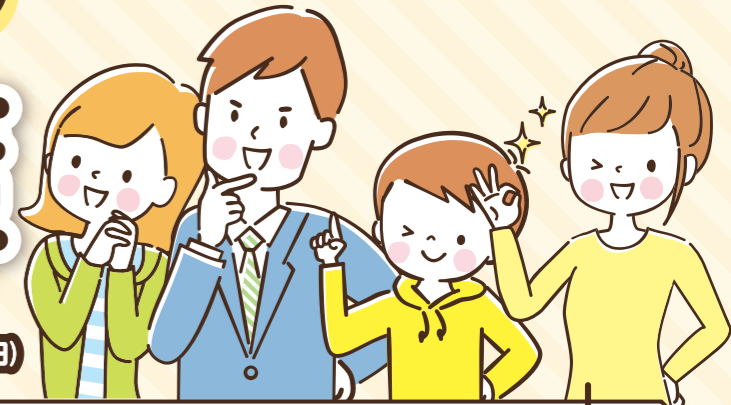
### 今後の財政運営

今後も、施策・事業の選択と、限られた行政資源の最適配分に加え、適正な財政規模を意識しながら、「サービス水準」と「受益者負担」の調整を図るとともに、現下のコロナ禍への対応やポストコロナ時代を見据えた「新たな日常」を構築するための新たな取組など、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りながら、持続可能な行政運営に取り組んでまいります。

令和3年度決算に基づく現状値	現状値	目標値
実質的な財源調整2基金※1の残高の標準財政規模※2に対する割合	11.7%	10%程度
実質公債費比率※3	4.5%	10%以下
経常収支比率※4	90.3%	90%以下

※1:正味の財源調整にあてることができる財政調整基金と減債基金の残高のことで、佐世保市の貯金を指すものです。  
 ※2:地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもの。なお、一般財源とは使いみちを特定されず、どのような経費にも使用することができる財源です。市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。  
 ※3:地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標。  
 ※4:財政構造の弾力性(ゆとり)を判断するための指標。地方税・普通交付税などの、使いみちを制限されない毎年収入される性質の収入(経常的な収入)に対する、人件費・公債費・扶助費など毎年支出される性質の支出(経常的な支出)の割合です。

# させぼさんちの家計簿



## 令和3年度決算 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

**3年度決算のポイント**  
 歳入は1,399.1億円(前年度比152.4億円減)  
 歳出は1,343.0億円(同157.0億円減)となり、決算規模は過去2番目の大きさとなりました。  
 実質収支は42.2億円の黒字になりました。

### 主な事業

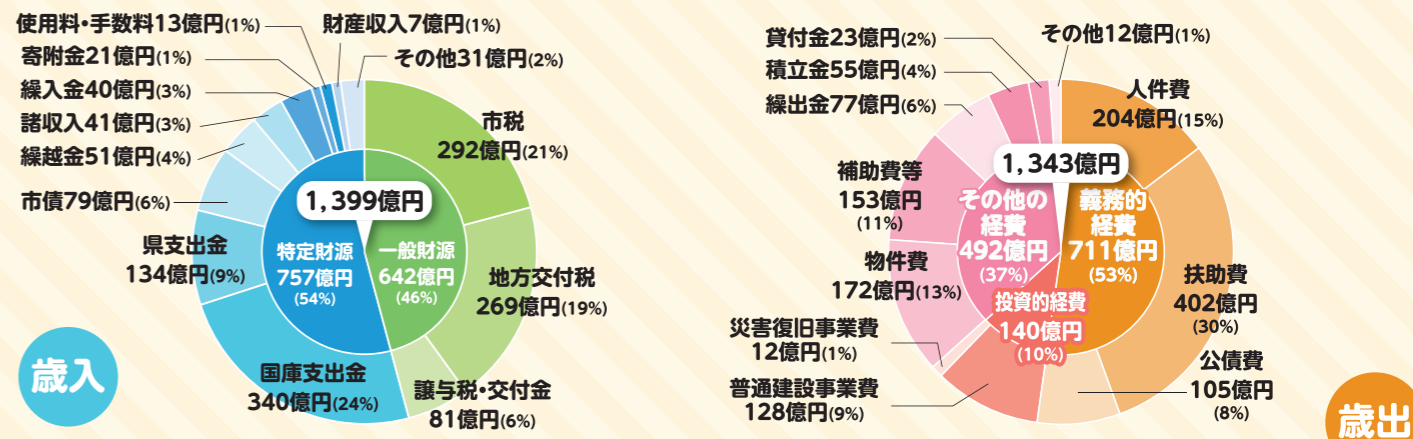
- ＜新型コロナウイルス感染症への対応＞
- ＜新型コロナウイルス感染症対応事業＞
  - 営業時間短縮要請に協力いただいた店舗への給付金 42.9億円
  - ワクチン接種にかかる経費 15.6億円 など
- ＜ポストコロナ対応関連事業＞
  - 電子決裁・文書管理システムにかかる経費 0.2億円 など

### 3年度のトピック

- 名切地区再整備事業として、中央公園のリニューアル工事を行いました。
- IR誘致のため、長崎県と協力して、IR事業者の公募・選定及び区域認定申請に向けた取り組みを行いました。
- 社会環境の変化、生活様式の変化に対応していくため、「佐世保市DX戦略」を策定しました。
- 新たなUJIターン政策として、「させぼ移住応援感謝制度」、「新卒移住応援制度」、「周遊型ワーケーション」等の事業を行いました。

### 3年度を振り返って...

- 単年度収支は1.3億円の黒字(※コロナにかかる国庫支出金の翌年度返還金2.3億円を除いた単年度収支は1.0億円の赤字)
- 市債残高は21.6億円減少し、プライマリーバランスの黒字化を達成。  
 実質的な交付税である臨時財政対策債について、将来への負担の軽減を図る観点から発行の抑制を行ったことなどにより、将来を見据えた借入の抑制に努めました。
- 財源調整2基金の残高は標準財政規模の11.7%となり、目標達成。  
 特殊要素を除く実質的な2基金残高は9.9億円減少し、72.2億円となりましたが、目標達成としていた標準財政規模の10%を達成しました。
- 圏域の活性化と健全財政の両立は一定達成  
 健全化判断比率は「健全」、リーディングプロジェクトや西九州させぼ広域都市圏の事業展開など活力ある地域づくりを進めることができました。



佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。また市役所6階 行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。

## 令和3年度佐世保市の決算

収入		
(2年度からの増減)		
市税	292億3,892万円	1億3,348万円
地方交付税など	357億9,616万円	30億805万円
諸収入その他	104億6,081万円	△6億4,083万円
国庫県費	473億6,704万円	△172億2,415万円
市債	78億5,750万円	△4億9,380万円
繰入金	40億4,245万円	△12億6,948万円
繰越金	51億4,782万円	12億5,137万円
<b>収入合計</b>	<b>1,399億1,070万円</b>	<b>△152億3,536万円</b>
<b>一般財源</b>	<b>642億1,826万円</b>	<b>31億4,970万円</b>
<b>特定財源</b>	<b>756億9,244万円</b>	<b>△183億8,506万円</b>
<b>基金残高</b>	<b>218億3,454万円</b>	<b>14億4,411万円</b>

支出		
(2年度からの増減)		
人件費	174億8,616万円	5億5,041万円
扶助費	312億7,907万円	△9,334万円
物件費・補助費	202億6,871万円	16億8,581万円
維持補修費	6億2,679万円	△7,107万円
教育費	110億9,056万円	△5億4,322万円
新型コロナウイルス対策	159億8,221万円	△159億7,026万円
繰出金	77億4,844万円	△2億1,970万円
公債費	104億3,317万円	1億614万円
普建・災害	111億7,559万円	△15億3,644万円
貸付・投資出資	27億4,118万円	△8億3,198万円
積立金	54億6,656万円	12億2,385万円
<b>支出合計</b>	<b>1,342億9,844万円</b>	<b>△156億9,980万円</b>
<b>市債残高</b>	<b>983億2,687万円</b>	<b>△21億6,390万円</b>

## させぼさんちの家計簿(1ヶ月あたり) 令和3年4月～令和4年3月の月平均家計

収入		
(2年度からの増減)		
現金収入	381,300円	△900円
給料(基本給)	90,700円	9,800円
給料(諸手当)	111,100円	20,000円
パート収入	32,500円	1,700円
祖父母からの仕送り	147,000円	△32,400円
ローン(借入金)	24,400円	1,200円
貯金の取り崩し	12,400円	△2,400円
繰越金	16,000円	5,200円
<b>収入合計</b>	<b>434,100円</b>	<b>3,100円</b>
<b>内訳</b>	<b>自由に使えるお金</b>	<b>199,200円</b>
	<b>使い道が決まっているお金</b>	<b>234,900円</b>
<b>貯金残高</b>	<b>780,000円</b>	<b>123,000円</b>

支出		
(2年度からの増減)		
生活費計	250,500円	30,400円
食費	54,300円	7,200円
医療費	97,000円	9,800円
光熱水費など雑費	62,900円	11,300円
車などの修理代	1,900円	0円
教育費	34,400円	2,100円
新型コロナウイルス対策	49,600円	△39,200円
子どもへの仕送り	24,000円	1,900円
ローンの返済	32,400円	3,700円
家や庭の建築・改修	34,700円	△600円
貸付など	8,500円	△1,400円
貯金	17,000円	5,200円
<b>支出合計</b>	<b>416,700円</b>	<b>0円</b>
<b>ローン残高</b>	<b>3,661,000円</b>	<b>311,000円</b>

コロナウイルス対策に約5万円かかったよ。これは、おじいちゃんおばあちゃん(国県)からの援助や、貯金を取り崩したりして支払ったよ。



生活に必要な食費、医療費、ローンの返済(義務的経費)が、全体の約4割もあるね。特に、医療費が家計を圧迫しているね。



これからも医療費は増えそうだから、食費や光熱水費など、できるところから切りつめないといけないね!



ローンの返済がある中で、私への仕送りもあるから大変だね。



ローン残高が少し減ったよ!



給料(市税)などの自由に使えるお金(一般財源)が2.9万円増えて、おじいちゃんおばあちゃん(国県)から援助してもらおう、使いみちが決まっているお金(特定財源)は2.6万円減ったよ。自由に使えるお金は増えたけど、使いみちが決まっているお金の割合が大きいため、今後も家計のやりくりが大変になるね。



家の改修計画(公共施設等総合管理計画)をつくったから、計画的に修理をしていこう。



家(施設)や庭(道路)をつくる時は、ローン(借入金)もしてるよ。これは、何十年も使う施設の建設費用を、後の世代の人たちにも負担してもらおうという意味もあるよ。



### させぼさん家



**お母さん**

やりくり上手でパートもこなす頑張り屋さん



**おとうと**

小学校に通っている



**わたし**

大学生で寮生活をしている



**お父さん**

平日は仕事で忙しい。休みの日は車を洗ったりする



**おばあちゃん**

健康のことを考えて散歩をしている



**おじいちゃん**

家や庭の改修など大きな出費の一部を援助してくれる